

市民公開フォーラム

すべての子どもに 「家庭」を

第2次世界大戦後、家族を失った子どもたちのために創設され、以後、戦争や災害を背景として世界に広がったNGO「SOS キンダードルフ（子どもの村）」。

「すべての子どもに家庭を」、これが共通のスローガンとなっています。

虐待や育児放棄によって、家族と暮らせない子どもたちが増え続けている私たちの国で、このスローガンが問いかけているものは何でしょうか？日本初の子どもの村の設立に向けて、いま福岡で、準備が始まったばかりです。

日時：2007年11月4日(日)13:00～17:00

場所：クローバーホール

クローバープラザ1F：福岡県春日市原町3丁目1-7 TEL 092-584-1212

① 講演1. 『子どもが求めているもの—子どもの心の居場所—』

講師：村瀬 嘉代子（大正大学大学院教授・臨床心理士）

② 講演2. 『これからの児童養護』

講師：柏女 霊峰

（厚生労働省「今後目指すべき児童の社会的養護体制に関する構想検討会」委員長）

③ トークセッション：演者のお二人とフロアの皆さまを交えての対談形式で行います。

参加費：1,000円（定員300名） * 託児（20名）託児料500円（ご希望の方は、お申し込みの際にご記入ください）

村瀬嘉代子（むらせ・かよこ）

家庭裁判所調査官(補)、カリフォルニア大学院バークレー校留学などを
経て、現職。文学博士。主な著書に、「子どもの心に出会うとき」「子どもと
家族への援助」「子どもと家族への統合的心理療法」「心理療法という営
み」など多数。

柏女霊峰（かしわめ・れいほう）

千葉県児童相談所、厚生省（現厚生労働省）児童家庭局勤務を経て、現在、
淑徳大学教授。日本子ども家庭総合研究所子ども家庭政策研究担当部
長。主な著書に、「子ども家庭福祉・保育のあたらしい世界」「これからの
児童養護」など多数。

主催：(特)子どもの村福岡を設立する会 後援：福岡県、福岡県教育委員会、福岡市、福岡市教育委員会（申請中）

問い合わせ：(特)子どもの村福岡を設立する会 事務局

〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂 2-3-1 Tel / Fax : 092-737-8655 E-mail : fukuoka@cv-f.org